

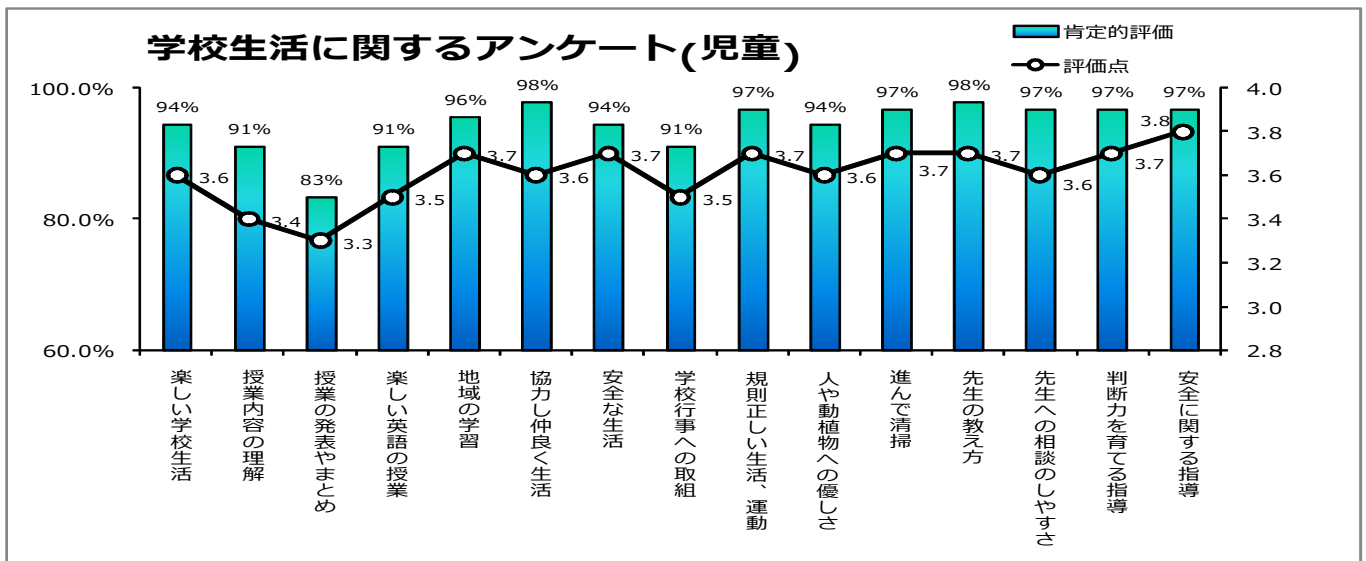
学校生活に関するアンケート(児童)、学校教育活動に関するアンケート(保護者)の結果

「学校生活、学校教育活動のアンケート」は、子どもたちがよりよい学校生活を送るため、教育の質の向上と改善を目指して実施するものです。学校関係者評価委員会(2/9)では、その結果等をもとに協議し、今年度のまとめを進めているところです。今後は、次年度に向けての具体的な改善策を立て、より質の高い教育活動の実践に向けて着手したところです。なお、結果の概要については以下のとおりです。

それぞれの評価項目を「A・B・C・D」で評価し、「(Aの割合)+(Bの割合)=肯定的評価」と判断しています。また、A(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)と点数化して表したのが評価点です。

1 学校生活に関するアンケート(児童)

- 15の設問中、1項目を除いて全て9割以上の児童が肯定的な評価をしています。唯一8割だったのは、「あなたは、授業で自分の考えをまとめて発表したり、友だちと協力して学習することができていますか」という設問でした。本校では、「思考力・判断力・表現力を高める」を学校課題として、国語科を中心に取り組んでいます。その成果も表れており、学級活動での話し合い活動が活性化し、児童の成長が伺えるという意見が多く聞かれるようになりました。今後も、本校の中心的課題として取り組んでいきます。



2 学校教育活動に関するアンケート(保護者)

- 12の設問中、1項目で72%という結果以外は、全ての項目で肯定的評価97%以上と評価していただきました。しかし、AとBの割合がほぼ同じ、あるいはBの割合が多い設問もあることから、さらに各教育活動を充実させていく必要があると捉えております。
- 肯定的評価が一番低かった「お子さんは、家庭学習を進んで行っている」については、教職員の学校評価でも課題として上がっていました。そこで、学年間の連携はもとより、宿題と自主学習の整理や「家庭学習の手引き」の見直しなどの改善を進めています。ちなみに、学校関係者評価委員会では、「鬼怒川小の子は自主学習をよくやる」と聞いている」というお話もありました。家庭学習の習慣化を含めて、御家庭とさらに連携を取り合って、一層の充実を図っていきたく思いますので、御協力をお願いいたします。

